



2007年2月。

しれとこ100平方メートル運動は、30周年を迎えました。

1977年、開拓跡地の買い取りと保全を目標に、小さな町から全国に向けた挑戦が開始されました。それから20年後の1997年には、土地買い取りの目標金額に到達し、保全した土地に原生の森を復元していく、新たな歩みが始まりました。

そして、2005年。運動地を含む知床国立公園が、世界自然遺産に登録され、これまでの歩みが、一つの成果として大きな形となりました。

しかし、30年という時間は、知床の森を育むにはまだまだ短く、これからも長い年月が必要です。

原生の森の復元に向けた使命と、世界自然遺産としての責任を背負い、運動はこれからも地道な歩みを続けていきます。